

めだか



北区わくわく
いきものずかん

ミツバチ

春の草花にミツバチがやってきました！ミツバチは花に集まり、蜜と花粉を集めます。蜜は成虫、花粉は幼虫の食べ物になります。また、からだに花粉をつけて運ぶことで、花の受粉の手助けとなっています。

ミツバチの見分け方

ミツバチには見た目がソックリな“セイヨウミツバチ”と“ニホンミツバチ”がいます。確実に見分けるためには、後翅（後ろの小さい翅）の翅脈という翅を支える筋のようなもので見分けます。翅脈が1本多いのが“ニホンミツバチ”、そうでないのが“セイヨウミツバチ”です。



ちよくせつ
直接さわったりしげき
刺激さわったりしなければ、
ハチが襲ってくることはないので、
ぜひ観察してみてください。



外はキケンがいっぱい

ミツバチは鳥やクモなどに食べられてしまうことがあります。そんなキケンな外の仕事（花の蜜と花粉集め）は、長く生きているベテランのハチが頑張っています。



ヒヨドリに食べられるミツバチ

北区立
自然ふれあい
情報館

〒114-0031 北区十条仲原4-2-1清水坂公園内
開館時間：9:30～16:30
TEL:03-3908-0804 FAX:03-3908-8856

休館日：月曜日（ただし祝日にあたる場合は翌日）
メールアドレス：jyohokan@eco-plan.jp
ホームページ：http://www.city.kita.tokyo.jp/kankyo/bunka/gakushu/shisetsu/fureai.html

↓情報館
ブログ



↓エコベルデ
ブログ



スタッフは見た！しぜんの^{じけんぼ}事件簿

2月22日。エコベルデのビオトープにアズマヒキガエルのつがいが現れました。2年連続で産卵を確認することが出来ました。複数のペアは確認できなかったのですが、蛙合戦とはなりませんでしたが、ようやくエコベルデのビオトープも産卵場所として認めてもらえたとうれしくなりました。これからの成長が楽しみです。



修了^{しゅうりょう}生日記^{せい にっ き}



修了生とは、北区環境リーダー養成講座に参加された方の総称です。

2月10日、エコベルデにて季節に合わせた花壇の更新のため、花苗を抜き取る管理作業を行いました。冬から春向きのお花になりますが、今咲いているお花もまだまだ元気。抜き取ったお花はエコベルデ近隣の病院や児童館にお配りしました。参加された方はご自宅に持ち帰る事も出来ますので、ご興味ある方はエコベルデ (TEL:03-3913-8340) までご連絡ください。



遊びに来てね！施設のご案内

詳しくは各施設のブログ、ホームページをご確認ください。



自然ふれあい情報館

自然ふれあい情報館は、区民が楽しみながら自然環境への理解を深めるための施設です。区内に生息する身近な生きものの飼育展示や、季節に合わせた企画展示を行っています。

併設の自然園をスタッフがご案内します。季節の生きものの観察や自然遊びを楽しめます。(各回20分)

①11:30～ ②13:30～ ③14:30～ ④15:30～

※環境管理作業など都合により中止することがあります。

※団体での利用をご希望の方はお問い合わせください。



↓自然ふれあい情報館ブログ

住所：〒114-0031 北区十条仲原4-2-1 清水坂公園内

開館時間：9:30～16:30 休館日：月曜日(ただし祝日にあたる場合は翌日)

電話：03-3908-0804 メールアドレス：jyohokan@eco-plan.jp

